



フジサンケイ広報フォーラム 12 月・月例会は、産経新聞東京本社編集局長兼写真報道局長の船津寛氏を講師にお招きし、産経新聞の新たな編集体制と今年の重大ニュースをテーマにお話しいただきました。なお、本講演内容の一部はオフレコで行いました。

船津寛(ふなつ・ひろし)氏

産経新聞東京本社編集局長兼写真報道局長

1991 年産経新聞大阪本社入社。阪神支局、夕刊フジなどを経て、2000 年から東京本社政治部。水戸支局デスク、政治部次長、経済部次長、地方部長などを歴任し 19 年経済本部長兼経済部長に就任。21 年編集局総務兼編集委員室長を経て、23 年 7 月から現職。

ご存じのように新聞各社は、紙からデジタルへとシフトしつつある。デジタル化の良い点は、紙よりはるかに多くの人々に読んでもらう点で、他紙に先駆けてインターネットでのニュース配信を手掛けた弊社でも、この動きを加速し、新たなビジネスモデルの構築に努めているところだ。

編集局は、他紙と同様に政治・経済・社会・外信・地方等々の各部が取材を行い、新聞発行をしているが、今年 11 月からデジタルニュース配信専門の報道部を拡充した。さらにデータ分析のチームが、どんなニュースがどのくらい読まれているかなど、紙では難しかった読者層のトラッキングも行っている。

紙とは違いデジタルニュースでは、締め切りというものがない。以前は、紙面に載せることを第一義としていたが、入ったニュースはすぐに配信する態勢をとっている。24 時間編集体制であるが、前日にどのニュースをどの時間に入れるかをスケジュールリングしている。

デジタルニュースが読まれる時間は、7-9 時、12-13 時、19-20 時がゴールデンタイムだったが、最近は昼と夜の山が高くなっており、それに合わせた編成を行っている。ネット上では PV を稼ぐために「？」とか「！」が付く「なぞなぞ見出し」やテレビで見たことをそのまま書く「こたつ記事」が散見されるが、我々はそうした安易な記事は配信していない。

船津編集局長が挙げた今年の国内重大ニュース

- 10 位 池田大作氏死去
- 9 位 処理水海洋放出と中国の情報戦
- 8 位 ビッグモーター問題
- 7 位 酷暑の夏と消費低迷
- 6 位 ジャニーズ問題
- 5 位 阪神タイガース優勝
- 4 位 広島サミットーゼレンスキー大統領初来日
- 3 位 新型コロナ 5 類移行ー訪日客増加
- 2 位 物価高
- 1 位 岸田政権支持率急落と裏金問題



当日は、船津編集局長を囲んで恒例の年末懇親会も開催しました。